

排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

バイオマスボイラの新設プロジェクト

排出削減事業者名：社会福祉法人伸康会

(介護老人保健施設平成の家)

排出削減事業共同実施者名：株式会社F Tカーボン

その他関連事業者名：

1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	社会福祉法人伸康会
排出削減事業を実施する事業所 (複数の事業所で実施する場合、行を挿入し全事業所を記載すること)	
事業所名	介護老人保健施設 平成の家
住所	青森県弘前市大字独狐字石田 1 2 1 - 1
排出削減事業共同実施者 (J-クレジット保有予定者) (複数の排出削減事業共同実施者がいる場合、行を挿入し全ての共同実施者を記載すること)	
排出削減事業 共同実施者名	株式会社 F T カーボン
その他関連事業者 (複数の関連事業者がいる場合、行を挿入し全ての関連事業者を記載すること)	
関連事業者名	

2 排出削減活動の概要

2.1 排出削減事業の名称

バイオマスボイラの新設プロジェクト

2.2 排出削減事業の目的

木質バイオマスボイラ 1 台を新設する。木質バイオマスを利用することによって、化石燃料を利用する場合に比べて CO2 排出量を削減する。

2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

木質バイオマスはカーボンニュートラルが適用され、CO2 を実質的に排出しないものとみなされるため、新設ボイラの燃料として灯油を利用する場合に比べて、CO2 排出量を削減する。

2.4 J-クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

変更なし

3 排出削減活動期間

3.1 プロジェクト開始日

2012 年 12 月 10 日

3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2013年4月1日 ～ 2016年3月31日

4 温室効果ガス排出削減量

4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
001-A	ボイラーの新設

4.2 活動量

4.2.1 活動量・原単位

活動量・原単位は採用しない。

4.2.2 活動量の採用根拠

活動量は採用しない。

4.3 事業の範囲（バウンダリー）

バイオマスボイラー及びボイラーから温水の供給を受ける設備

5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法 に変更ある場 合、) 変更理由
$F_{\text{fuel,PJ}}$	木質バイオマス使用 量	t	22.10【2013年4月～2014年3月】 27.30【2014年4月～2015年3月】 50.05【2015年4月～2016年3月】	請求書	変更なし
$LV_{\text{fuel,PJ}}$	木質バイオマスの単 位発熱量	GJ/t	18.1【2013年4月～2014年3月】 18.2【2014年4月～2015年3月】 18.0【2015年4月～2016年3月】 (到着ベース、低位発熱量)	分析報告書	変更なし
ε_{PJ}	事業実施後バイオマ スボイラ効率	%	85.0 (低位発熱量)	カタログ値	変更なし
ε_{BL}	ベースラインボイラ効 率	%	89.4 (低位発熱量)	カタログ値	変更なし
$CF_{\text{fuel,BL}}$	灯油の単位発熱量あ たりの CO2 排出係数	tCO2/G J	0.0722 (低位発熱量)	J-クレジット制度 のデフォルト値	変更なし

6 排出削減量の計算

6.1 事業実施後排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
EM _{PJ}			0.0 (t-CO ₂)

6.2 ベースライン排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
22.10 (t) 85.0 (%) 89.4 (%)	18.1 (GJ/t)	0.0722(tCO ₂ /GJ)	
27.30 (t) 85.0 (%) 89.4 (%)	18.2 (GJ/t)	0.0722(tCO ₂ /GJ)	
50.05 (t) 85.0 (%) 89.4 (%)	18.0 (GJ/t)	0.0722(tCO ₂ /GJ)	
EM _{BL}			123.5 (t-CO ₂)

6.3 リークージ排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
			0
LE			0

6.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	EM _{BL}	123.5
事業実施後排出量 (7.1)	EM _{PJ}	0.0
リークージ排出量 (7.3)	LE	0
温室効果ガス排出削減量	ER	123

7 省エネルギー量

本事業は、再生可能エネルギーを利用するプロジェクトのため、省エネルギー量はない。

8 再生可能エネルギー利用量

	モニタリング期間 (2013年4月1日 ~ 2016年3月31日)			
		エネルギー使用量	熱量換算 (GJ)	原油換算(kl)
	単位	(実績)	(実績)	(実績)
バイオマス利用量	t	99.45 t	1,798 GJ	46.4 kL